

東日本大震災
あの日を未来につなぐ、宮城のいま。

2020.11.11

Vol.
54
November, 2020

ナウイズ
毎月11日発行

NOW IS.

里村明衣子
in 名取市



とっても楽しそうな場所！
仲間と遊びに来たい。

NOW IS. 対談

対談

Talk Session

in 名取
NATORI

サイクリングや 温泉施設を通して まちに新たなにぎわいを。

センダイガールズプロレスリングの選手兼代表取締役社長として活躍する里村明衣子さん。この日は、オープンしたばかりの「名取市サイクルスポーツセンター」を訪れ、施設の開設に携わった名取市商工観光課の中澤真哉さんと対談しました。新しい海沿いのアクティビティ施設に込めた想いを伺います。

9年半ぶりに再建。開上に新しい風景を

里村明衣子さん（以下里村）―今

日は平日なのに人がたくさん来ていますね！まだオープンしたばかりなんですよね。
中澤真哉さん（以下中澤）―はい、10月3日にグランドオープンしたばかりです。1周4キロのサイクリングロードをはじめ、おもしろ自転車に乗れる広場、スポーツ施設、公園などがあります。お子さん連れの方が多くですね。新型コロナウイルス感染症のことを考えると、なかなか家族で遊びに行くのが難しい時期ですが、このような屋外施設なら、と遊びにいらっしや

る方も多いようです。
里村―確かに。海風が気持ちよくて、遊びに来たくなる場所ですね。私も実は自転車が好きで。休日にはよく、自転車を車に積んで、山形の公園にサイクリングに行くんです。こんな近くに、こんないい施設ができたなんて！それにここ、温泉もあるんですね。思い切り身体を動かして、温泉でリラククスできるなんて、アスリートにとっても最高。合宿に来たい！
中澤―団体でのご利用にも対応できるように、和室や二段ベッド

の部屋も用意しています。ぜひ、みなさんでいらしてください。
里村―はい、ぜひ！この施設は震災の前からあるんですね？
中澤―オープンしたのは1975年です。自転車の走路や市民プール、宿泊施設がありました。震災の時は、ここに9mの津波が来ました。2011年に古い建物が解体され、13年に新しい施設が建設が決められました。
里村―再建は地域の方々の願いだったのでしょうか？
中澤―私も名取出身なので、サイクルスポーツセンターに遊び

に来るのは家族の恒例行事でした。にぎわいの拠点となる施設がほしいという声も多く、施設の再建が決まりました。
里村―温泉も前からあった？
中澤―今回新たに掘りました。温泉は、震災前にはなかった施設なので、復旧のための補助金を使えませんでした。さらにいい施設にしたいという想いもあり、クラウドファンディングを実施し、温泉開掘費用の1割近くをご支援いただきました。全国の皆さんから応援いただき、とても有難かったです。

里村―クラウドファンディングのいいところは、みんなが気軽に応援できる場所ですね。応援すると、完成したあとに関わりたいという気持ちになる。みんなの想いが集まって完成したというのが、とても素敵ですね。
中澤―はい。サイクリングして、温泉に入って、家族連れや自転車好きの方もみんなで楽しんでいただきたいと思っています。開上を起点としたサイクリングロードの紹介や発信も始めました。開上には自転車が行ける通行帯があります。ここを起点に、か

わまちでらす開上や震災復興伝承館などをぐるっと巡っていたみたいです。
里村―アメリカやイギリスでは、休みの日になると若い方もお年寄りの方も、公園でサイクリングを楽しみます。試合で訪れた時にそんな方々を見て、日本にもこんな風景があったらと思うんです。ここで自転車を楽しむ文化が広がればいいですね。
中澤―そうですね。私たちも、名取市や近隣地域のサイクリングロードの魅力をどんどん発信したいと思っています。

Nakazawa Shinya

中澤真哉

なかざわしんや

PROFILE

1983年生まれ、名取市出身。前職を経験後、名取市への想いを胸に2014年名取市役所入庁。2017年度まで震災復興部生活再建支援課で仮設住宅の被災者支援や公営住宅等への再建支援などに従事。2019年度より現職。

Satomura Meiko

里村明衣子

さとむらめいこ

PROFILE

1979年生まれ、新潟県出身。15歳でGAEA JAPANに入門し、プロデビュー。2005年にセンダイガールズプロレスリングが発足し、東日本大震災を機に選手兼代表取締役社長に就任。近年はボディビルダーの選手としても活躍。



地域の想いの後押しで、オープンにこぎつけました。





「宮城ゆりあげ麦酒醸造所」の前で、ビールを持って。



「味わいがこんなに違うんですね」と里村さん。

「酵母が生きてるんですよ」とビールのつくり方を説明する工場長の北條仁さん。



Visit
名取
NATORI

前よりおもしろく、
前以上に幸せに。
想いがこもった
復興のまち。

「仕事終わりに立ち寄れるカフェにしたい」とCafé maltaの相澤さん。

まちなんがが集まる、
ワクワクする施設。

サイクルスポーツセンターの4kmにわたるサイクリングロードは、海と防潮林の間に設けられています。ユニークな形の自転車を漕ぎながら「これは気持ちいい！自分の自転車を持ってきて、このコースを走りたい！」と里村さん。「ぜひ温泉にも！昼間もいいですが、個人的におすすめなのは夕暮れ。山々に沈む夕日を眺めながら温泉に入れるんです。最高ですよ！」と中

澤さんは笑います。

「ワクワクする、とてもいい場所ですね」。施設を巡りながら里村さんは話します。「何もないところから、つくり上げるというのは、ちょっと共感するところがあります。私は、震災をきっかけにセンダイガールズプロレスリングを引き継ぎました。ほとんどゼロからのスタートです。振り返れば大変でしたが、「震災前よりも絶対いい風景をつくってやろう」と頑張りました。サイクルスポーツセンターの方々もきっとそうだった

と思います。まちなんが集まる場になりそうですね」。

次に訪れたのは、2020年5月に開館した「名取市震災復興伝承館」。東日本大震災の被害を伝えるとともに、津波や洪水などに対する防災について学べる施設です。震災前の街並みを再現したジオラマを見て「よくつくりましたね、こんなに一つひとつ」と里村さん。復興までの歩みを紹介したパネルにも、真剣な表情で見入ります。水害に対する防災を学ぶコーナーでは、30cmの浸水時に足にか

文化が混ざる場に 地中海風のしらすカフェ。

一口飲んで「おいしい！すごくフルーティですね！」と笑顔を見せました。原さんはうれしそうに頷きます。「うちは、ビルスナーやヴァイツェンなどの定番もおいしいんですけど、フルーツのエールもおもしろいんですよ。地元のフルーツも使ってみたいと思って、名取の北釜メロンを使ったエールも試作中なんです」。「うちの団体に、こういうビールが大好きな選手がいるんです！今度連れてきたいな」と里村さん。宮城ゆりあげ麦酒醸造所では、現在瓶ビールの直売も行っています。

最後の訪問場所は「Café malta」。名取の新名物・北限のしらすを扱う「マルタ水産」が10月26日にオープンしたカフェです。ベンチが置かれた広めの前庭の奥には、白い壁のおしゃれな建物が。里村さんは「かわいいい！」と声を上げます。「地中海のマルタ島をイメージしたカフェなんです。マルタ水産とマルタ島には、なんの関係もないんですけどね」。はにかみな

かる重さを再現した下駄を履き

閉上の気候と水が つくり上げるビール。

「名取市震災復興伝承館」と「名取市サイクルスポーツセンター」の完成をもって、閉上地区のハード面の復興はほぼ完了しました。土地の整備も進み、民間の人々の店や施設もどんどん増えています。

次に訪れた「宮城ゆりあげ麦酒醸造所」もそのひとつです。もともと亘理町で地ビールを生

からそう話すのは、専務の相澤太さん。「マルタ島は様々な国の人々が行き来する場で、そういうところが震災後の閉上と似ているなと思って。閉上も、文化の混ざる場になったらいいなと思います。カフェで提供されるのは、しらすを用いた洋食です。「しらすはどんな料理とも相性がいいんです」と相澤さん。「しらすだけじゃなく、名取のいろいろな食材を使っていたいです。名取の魅力が集まる場にしたいですね」。

「想いを感じますね」。取材を終えて、里村さんはそうつぶやきました。「名取市サイクルスポーツセンターの方々も、醸造所の原さんも、カフェの相澤さんも、前よりおもしろくしてやる、前以上に幸せになってやる、という想いが強いんだろうなあと思います。閉上を忘れずに頑張ってきた人たちが、10年経って戻ってくるって、なんだかすごくうれしい。私も震災直後に団体の代表を引き継いでから10年経ちました。良くなったりは悪くなったりを繰り返して、ようやく今、いい雰囲気をつくれるようになってきた。希望を持って歩き続けられれば、必ずついてくるものがある。改めて、そんなふうに感じる事ができた1日でした」。



広い敷地でのびのび遊べる名取市サイクルスポーツセンター。おもしろ自転車は、子どもにも大人にも大人気。



「これは楽しい！」と笑顔を見せる里村さん。



レンタル用の自転車はスポーツタイプから子ども用までさまざま。ヘルメットもレンタルできます。



「こんなところにまで津波が…」と里村さん。「名取市震災復興伝承館」のジオラマでは、津波のスケールを感じられます。

ここに注目!
NOW IS. EYE'S

名取川の堤防沿いに建てられた「名取市震災復興伝承館」。東日本大震災の被害を伝えるパネル、映像などがあり、語り部ツアーなどの拠点にもなっています。防災について学べる体験型の展示も。



「Café malta」には、しらすの加工品や名取市の特産品が並ぶ直売所もあります。



日本製の良さを伝えるため、和のカラーを取り入れた
左からソラデーN4藤、若葉、雪、桜。

水と光で磨く特許取得歯ブラシ

近年、歯の健康は全身の健康に大きく影響することが分かっています。しかし災害時は十分な水を確保できず、口内を清潔に保つのが難しいケースがあります。

check! 01 化学的アプローチで歯垢を除去
災害時の貴重な水を節約

株式会社シケンが創業以来販売・改良を続ける「ソラデーシリーズ」は、光触媒を応用した、少量の水と光があれば歯磨き粉不要で歯垢を除去できる特許取得の歯ブラシです。酸化チタンとソーラーパネル搭載により、ダブルの電子が発生して、歯垢と結びつき、除去しやすくなります。

現在発売中のソラデーN4はシリーズ4代目。海外製造を国内製造に切り替え、ソーラーパネルを前モデルの2倍ほどに拡大し、歯垢除去力を向上させました。営業部の松野崇志さんは「普段のケアにはもちろん、歯磨き粉なしで磨けて水を節約できるので、防災バッグに入れておく

NOW IS.
防災

BOSAI FRONT LINE
70.11.17.1

Vol.18

PROFILE

株式会社シケン
営業部 課長代理
まつの たかし
松野 崇志さん



オールケア製品を通して健康への貢献を目指す企業。ソラデーシリーズは創業以来40年研究を重ねたロングセラー商品。水だけで磨ける経済性から、災害への備えとしても注目されている。

いざという時に安心です」と非常用としての活用も提案しています。

check! 02 高まる口腔ケアの意識
新しい生活様式にも
エコな使い勝手で対応

コロナ禍でマスクを着用する場面が増え、以前より口臭を気にする人が増えました。今後は避難所でも感染対策が必要であるため、口腔ケアの需要が高まることが予想されます。また、避難生活で全身の健康を守るためにも、歯の健康の維持はますます大切です。ブラシのヘッドは外せるため、毛先が開いてきたら交換できます。グリップには握ることで電子を通す特殊なラバーが採用されています。災害時に携帯ケースとスベアのストックを持っておくこともおすすめです。

「お客様には「つるつるになって気持ちいい」というお声をいただいています。歯の健康、引いては生活の質の向上に役立ててほしいです」とのことです。



みやぎ復興情報
ポータルサイトは
コチラから!



<https://www.fukkomiyaagi.jp>

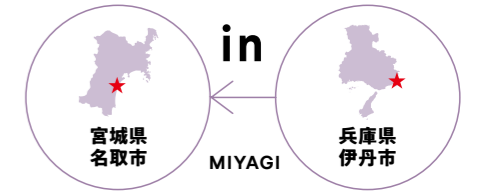
宮城の復興情報を発信する、「みやぎ復興情報ポータルサイト」を開設しています! 復興に関するお知らせや復興の進捗状況、復興に向けた取組などを発信しています。

宮城県の東日本大震災死者数(関連死含む) 10,567人 | 行方不明者数 1,218人 | 2020年9月30日現在宮城県危機対策課調べ



活躍する応援職員

SUPPORT POWER



名取市 建設部 閉上・北釜整備課 閉上・北釜整備係 技師
いかわ ゆうすけ
井川 裕介 さん
兵庫県伊丹市から名取市に派遣

復興が達成しても 名取市との絆は続く

2019年4月に、伊丹市から派遣職員として名取市に来た井川さん。上司から「行ってみないか?」と声をかけてもらい、「被災地を応援したい」という気持ちが高まった」と言います。名取市では、建設部閉上・北釜整備課に所属し、閉上区画整理事業の道路や公園などの建設に係る監督業務を担当しています。井川さんが名取市に来た2019年は、4月に「みちのく潮風トレイル名取トレイルセンター」や、商業施設「かわまちてらす閉上」がオープン。5月には閉上公民館や閉上体育館も開館し、「閉上地区まちびらき」が行われ、その記念式典の準備にも携わりました。その後も、名取市震災メモリアル公園、沿岸部のかさ上げ道路開通など、復興が進みました。「閉上に行くたびに、どんどんまちができていきました。復興の一助となる喜びはもろろんですが、「まちをつくる」という大きな事業に携わることはとても勉強になっています。



閉上地区一帯を見渡せる日和山からの景色。井川さんはここから復興していく街並みをよく眺めています。

よる応援を迅速に遂行するため、全国の空港所在市の7市(千歳市・花巻市・名取市・岩沼市・伊丹市・大村市・霧島市)と「大規模災害等の発生時における相互応援に関する協定」を締結しています。「派遣期間が終わっても、何かあったらすぐに駆けつけます」と意気込みます。

「近年、大規模災害が多く発生し、いつ、どこが被災地になるかわかりません。名取市での学びを伊丹市に持ち帰って活かせるように、これからも頑張りたいです。任期が終わっても、閉上に様子を見に来たいと思っています」と井川さんは話してくれました。

INFORMATION from MIYAGI

〔宮城県からのお知らせ〕

01 県民意識調査にご協力をお願いします!

県では、県民の皆様の思いを県政に反映させるため、県民意識調査を毎年実施しています。調査票が届いた方は、県の復旧・復興がどれだけ進んだと感じているか、率直な思いをぜひご回答ください。

- 対象
県内在住の4000人
(選挙人名簿などから無作為抽出)
- 調査期間
11月19日(木)~12月14日(月)
- 県震災復興政策課
☎022-211-2406



02 「宮城県震災復興パネル」の貸出について

宮城の復興状況をまとめた「宮城県震災復興パネル」の貸出を行っています。防災等のイベントのほか、大勢の方がご覧になる場所で展示いただける場合には無料でお貸しします(送料は利用者負担)。全10枚のうち、枚数を指定した貸出も受け付けていますので、是非ご確認ください。

- 仕様等
サイズ:A1、枚数:10枚、
貸出料:無料、送料:利用者負担

パネルの詳細は
みやぎ復興情報ポータルサイト
で検索

- 県震災復興推進課
☎022-211-2408



Thank you from MIYAGI

宮城から、ありがとう。

全国各地、世界各国から寄せられた、たくさんの支援。
宮城の復興は、そんな数多の想いで成し遂げられています。

SUPPORT FILE
No.6

From 図書館振興財団・日本ユニセフ協会・カナダ東北復興プロジェクト To 名取市

名取市歴史民俗資料館

2020年5月31日に開館した「名取市歴史民俗資料館」は、様々な団体の支援により建設されました。

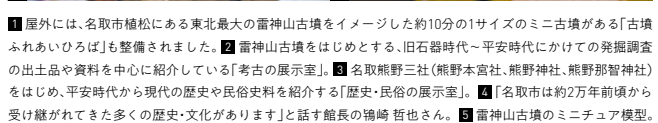
震災前、この場所には名取市図書館がありました。築50年を超える建物は、震災による地震で被害を受け、解体することに。ボランティアなどの協力で、移動図書館車や離れの書庫などを活用しながら続けていた図書館は、2011年11月、図書館振興財団の支援でプレハブの建物が建設され、貸出・返却カウンターや閲覧コーナーなどを設置し、図書館機能が強化されました。

さらに2012年1月、日本ユニセフ協会の支援で「どんぐり子ども図書室」、同年12月にカナダ東北復興プロジェクトの支援で、「どんぐり・アンミんの図書室」が完成。その後、名取駅前に図書館を新設することになり、それらの建物は、感謝の想いを受け継ぐため「名取市歴史民俗資料館」として新たに生まれ変わりました。

「資料館という無機質なイメージを持つ方が多いですが、展示室は木造の建物を活かし、気軽に訪れてもらえるよう、温かみのある雰囲気になっています」と話すのは、

館長の鶴崎^{とさき}さんです。2つの図書室は展示室に、プレハブの建物は、体験学習や各種講座、資料館の展示ガイドなどを行うボランティアの活動拠点施設として活用されています。

「これまで名取市の歴史・文化を紹介する市の施設はありませんでした。歴史講座や企画展の展示解説などの企画は予約で埋まっています。興味を持っていただいています。今後は『資料館はいつも何か企画をやっているよね』と気軽に来ていただけるよう、魅力ある企画を打ち出していきたいですね。」



1 屋外には、名取市植松にある東北最大の雷神山古墳をイメージした約10分の1サイズのミニ古墳がある「古墳ふれあいひろば」も整備されました。2 雷神山古墳をはじめとする、旧石器時代～平安時代にかけての発掘調査の出土品や資料を中心に紹介している「考古の展示室」。3 名取熊野三社(熊野本宮社、熊野神社、熊野那智神社)をはじめ、平安時代から現代の歴史や民俗史料を紹介する「歴史・民俗の展示室」。4 「名取市は約2万年前頃から受け継がれてきた多くの歴史・文化があります」と話す館長の鶴崎 哲也さん。5 雷神山古墳のミニチュア模型。

NOW IS. ^{Vol.}54 _{トイイズ}

発行:2020年11月11日 宮城県震災復興本部(事務局:震災復興推進課)
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号
Tel:022-211-2408 Fax:022-211-2493

『復興情報発信プロジェクト NOW IS.』は、宮城の復興の「いま」を伝えるプロジェクトです。